

[1]下の地図(A)・(B)に関する設問に答えよ。

地図(A)について

問1 前18世紀ごろ建国された「あ」の国は、前16世紀に古バビロニア王国を滅ぼした後、シリアに進出して、前13世紀には「い」の国と戦った。世界で最初に鉄製武器を使った「あ」の国名を答えよ。

問2 「い」の国ではナイル河畔の低湿地に自生する植物の繊維を用いて一種の紙が作られていたが、これを何というか答えよ。

問3 「う」の矢印は前12世紀に「あ」の国を滅ぼし、「い」の国を衰退させた民族集団の進路を表している。「う」の民族集団を何というか答えよ。

問4 前2千年紀初めに建国した「え」の国は、長期にわたり他民族に支配されていたが、前8世紀には鉄製武器と強力な騎馬隊を使って周囲を征服し、前7世紀にはエジプトをも支配下に入れて、全オリエントを初めて統一した。「え」の国名を答えよ。

問5 前8世紀末から「え」の国の首都となった図中aの都市は何か。次の中から一つ選び番号で答えよ。

バビロン テーベ ダマスクス ニネヴェ

地図(B)について

問6 ギリシアの各ポリスは、前8世紀から前6世紀にかけて地中海沿岸や黒海沿岸に植民市を建設した。これらのうち、現在イスタンブルとよばれている図中bの都市は、建設当初から後4世紀に改称されるまでの期間、何と呼ばれたか答えよ。

問7 図中cの都市は、前9世紀にフェニキア人が建設した代表的な植民市である。西地中海を勢力圏としていた都市cの名称を答えよ。

問8 3度にわたるローマとの戦争の結果、前146年にcは滅亡した。ところで、この戦争は、当時有数の穀物生産地であった図中dの島の支配をめぐる開始された。dの島の名称を答えよ。

問9 「お」の国はヘレニズム諸国の中で最も繁栄した国である。この王朝の名を答えよ。

問10 図中eは「お」の国の首都であり、商業・貿易で栄えただけでなく、学問・文化の一大中心地でもあった。前3世紀、首都eに設置され、エウクレイデス・アルキメデス・エラトステネスなど多くの学者が活動した研究機関は何か答えよ。

[2] ヨーロッパ中世に関する(1)~(7)の文章を読み[A]~[N]に適する語句を記入せよ。また後の問に答えよ。ただし(3)の[E]には同じ語句が入るものとする。

(1)ゲルマン人は主にバルト海沿岸の地域を居住地としていたが、しだいに西方や南方などに先住の[A]人を圧迫しながら移動し、紀元前後にはローマ帝国との境を形成するようになった。しかし4世紀後半、アジア系の[B]族の西進を契機にゲルマン人はローマ帝国領内に大移動を開始した。

(2)5世紀後半に[C]朝が成立したフランク王国は他のゲルマン国家に対して独自の発展を見せ、やがて西ヨーロッパの主要部分の統一に成功した。しかし最盛期を実現した[D]の死後、王国は東・西フランクとイタリアの三つの地域に分割され、後のドイツ・フランス・イタリアの基礎が作られた。

(3)8世紀末から(a)ヴァイキング(ノルマン人)は各地に進出し、10世紀初めには西フランクの北部に[E]公国を建てた。その[E]公は1066年に[F]族のイングランド王国を征服し、ウィリアム1世として王位についたので、西フランク(フランス)王の家臣がイングランド王という複雑な関係が成立した。

(4)東フランク(ドイツ)では国王[G]が、10世紀後半にローマ教皇からローマ皇帝の冠を授けられ、この地域は後に神聖ローマ帝国と呼ばれるようになった。しかし歴代の神聖ローマ皇帝は[H]への遠征をくりかえし、また(b)ローマ教皇との聖職叙任権闘争などもあって、皇帝権力は強化されず国内の統一は進まなかった。

(5)フランスは10世紀後半に[I]朝となったが、王権がきわめて弱く、地方分権の傾向が強かった。しかし12世紀後半に即位した(c)フィリップ2世は、イングランド王の[J]と争って領土を拡大するなど、王権の拡大と伸長に努めた。

(6)11世紀ごろからヨーロッパでは遠隔地貿易が発達した。中でもハンザ同盟を結成した北ドイツ諸都市や、フッガー家を出した南ドイツの[K]、ロンバルディア同盟を結成した北イタリア諸都市が盛んに活動し、またパリ東部の[L]地方もヨーロッパの南北商業圏を結ぶ大きな定期市で繁栄した。

(7)14世紀前半にフランスで[M]朝が成立すると、イングランド王国との間で(d)百年戦争が始まった。この長期の戦争の間、フランスはヨーロッパの人口を半減させた[N]の流行や農民一揆のため国土が荒廃したが、15世紀前半には戦局を打開しカレーを除く全国土からイングランド軍を追い返し、百年戦争を終結させた。

問1 下線部(a)の結果とは無関係なものを次の中から一つ選び番号で答えよ。

キエフ公国 両シチリア王国 ノヴゴロド公国 東ゴート王国

問2 下線部(b)に関して、ローマ教皇と神聖ローマ皇帝が争った事件を次の中から一つ選び番号で答えよ。

ジャックリー アナーニ事件 カノッサ事件 「教皇のバビロン捕囚」

問3 下線部(c)の人物について正しいものを次の中から一つ選び番号で答えよ。

アルビジョワ派に対する異端討伐を進め王権を南フランスに拡大した。

大憲章(マグナ=カルタ)を認め教会・貴族・都市の特権を尊重した。

聖職者・貴族・市民の代表から構成される三部会を召集し支持を得た。

プランタジネット朝を開きフランス西部の広大な領地を確保した。

問4 下線部(d)に関して正しいものを次の中から一つ選び番号で答えよ。

この戦争の背景には絹織物生産地のフランドルをめぐる対立があった。

この戦争中にフランスでは王位がランカスター家に継承された。

この戦争中にジャンヌ=ダルクがあらわれフランスの勝利に貢献した。

この戦争の結果としてフランスでは諸侯や騎士の力が強まった。

[3] 14世紀から17世紀までのヨーロッパに関する次の文章を読み、下線部(a)～(g)に関する設問に答えよ。

ペスト大流行が終わった14世紀になると、ヨーロッパでは「自然と人間の再発見」をめざす(a)ルネサンスがイタリアからやがてヨーロッパ各地へ広がった。一方、中世以来のキリスト教会の在り方に根本的な疑問を投げかける(b)宗教改革が、16世紀に大きなうねりとなって広がった。これとは別に(c)スペイン、ポルトガルを筆頭とする諸国家は南北アメリカやアジアへ進出し、「世界の一体化」がようやく始まった。このような時代背景の中で(d)イギリスや(e)フランスのように、王権の強大化によって、絶対主義の確立に成功した国家もあれば、逆に中央集権化に失敗した(f)ドイツのような例もあった。しかし、強大な王権を誇った絶対主義体制も、やがて17世紀のイギリスの例に見られるように、(g)市民革命によって打倒されることになった。

- 問1 下線部(a)に関して、ルネサンスに関する次の説明のうち、正しいものを一つ選び番号で答えよ。
イタリア諸都市の商業貴族が支えたルネサンスを教皇庁が抑圧したため、イタリアでは学問・芸術の発展が阻まれた。「自然と人間の再発見」ととなえたルネサンスでは、古代ギリシア・ローマの文化に関する研究は進まなかった。ルネサンスはアルプス以北でも花開き、ネーデルラントではブリューゲルが農民の生活をいきいきと描いた。ルネサンスの三大発明とされるのは、火薬・羅針盤・木版印刷の三つである。
- 問2 下線部(b)に関して、宗教改革に関する次の説明のうち、正しいものを一つ選び番号で答えよ。
「信仰によってのみ救われる」と説いて宗教改革をおこしたルターは諸侯の支援が得られず孤立し、挫折した。ルターはミュンツァーと共に終始、ドイツ農民戦争を指導した。ジュネーヴで宗教改革を進めたカルヴァンは予定説を説いて多数の商工業者の支持を集めた。ツヴィングリはウィーンで宗教改革を始め、教皇権からの王権の独立を説き、独特の宗教独裁を樹立した。
- 問3 下線部(c)に関して、大航海時代のスペイン及びポルトガルに関する次の説明のうち誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。
スペインではレコンキスタ終了と同じ頃、新航路の開拓事業が国王の支援によって進められ、主にラテン=アメリカに進出した。ポルトガルの新航路開拓事業は主にアジアへ向けに行われ、イスラム教徒が握っていた香料貿易の支配をめざした。大航海時代の到来と共にヨーロッパ経済の中心はイタリア諸都市から大西洋沿岸の都市に移った。スペインのラテン=アメリカ支配の結果、ヨーロッパへの大量の銀流入により物価変動が生じたが、領土支配への影響はなかった。
- 問4 下線部(d)に関して、16世紀のイギリスに関する次の説明のうち、誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。
イギリスの宗教改革はヘンリ8世の離婚問題を契機として行われ、教皇権からのイギリス王権の独立が実現した。エリザベス1世はヘンリ8世の政策を否定して、教皇とイギリス王権の関係を修復した。16世紀後半、イギリスはスペインの無敵艦隊を破り、ネーデルラントの独立運動を支援した。困い込み運動の結果、多くの農民が農地から締め出された。トマス=モアはこれを「羊が人を食らう」として批判した。
- 問5 下線部(e)に関して、16～17世紀のフランスに関する次の説明のうち、正しいものを一つ選び番号で答えよ。
フランスはイタリア戦争でハプスブルグ朝を破り、北イタリアを支配下に置いた。アンリ4世はユグノー派に改宗して領土の信仰選択権のみを認めるナントの勅令を発してユグノー戦争を終結させた。17世紀中頃に進められた中央集権化政策に反対する市民階級が農民と連帯してフロンドの乱を起こしたが鎮圧された。17世紀後半以降、ルイ14世は王権神授説を掲げ、官僚制と常備軍を整え、絶対主義体制を確立した。
- 問6 下線部(f)に関して、16～17世紀のドイツに関する次の説明のうち、誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。
16世紀前半のドイツ宗教改革の動向にオスマン帝国は大きな影響を及ぼした。16世紀半ばの宗教戦争が終結する際に成立したアウグスブルグ和議により、神聖ローマ帝国では個人の信仰の自由が認められた。17世紀前半の三十年戦争はドイツの荒廃と分裂を促し、領邦国家は外交上の主権を得た。三十年戦争後のウェストファリア条約により、ハプスブルグ家はアルザスやバルト海沿岸地域を失った。
- 問7 下線部(g)に関して、17世紀のイギリス市民革命に関する各事項を時代順に並べた場合、～のうちどれが正しいか、番号で答えよ。
a. 王政復古 b. 権利の請願 c. 権利の章典 d. 航海法発布

[4] AからEの文章は史料の抜粋である。以下の設問に答えよ。

A. 「(a)われわれは、次の真理を自明なものと認める。すべての人は平等に作られていること。彼らは、その創造者によって、一定の譲るべからざる権利を与えられていること。それらの中には、生命、自由、および幸福の追求が数えられること。」(『アメリカ独立宣言』より)

B. (b)国民議会を構成するフランス人民の代表者たちは、人権についての無知、忘却あるいは軽視のみが、公衆の不幸および政府の腐敗の原因であることにかんがみ、人間の持つ譲渡不可能かつ神聖な自然権を荘重な宣言によって提示することを決意した。...(略)...第1条 人間は自由で権利において平等なものとして生まれ、かつ生き続ける。社会的区別は共同の利益にもとづいてのみ設けることができる。...(略)...第6条 法は、(c)一般意思の表現である。市民はすべて自分自身で、あるいはその代表者を通じて、その形成に協力する権利を持つ。...(『フランス人権宣言』より)

C. 1834年1月1日以降は、絹糸製造工場を除き、9歳に満たざる児童を上述のごときいかなる工場、ないし製造所においても雇用することは、いかなる者にとっても正当でない。

D. これが(d)六月事件(六月暴動)であった。必然的で痛ましい事件であった。それはフランスから革命の火を消し去りはしなかった。しかし少なくとも一時の間、(e)二月革命に固有の仕事と叫ぶものに終止符を打った。六月事件(六月暴動)はパリの労働者の圧政から国民を自由にし、国民を国民自身のものとした。...(トクヴィル『フランス二月革命の日々』より)

E. プロイセンの国境は、健全な国家のそれにふさわしいものではありません。言論や多数決によっては現下の大問題は解決されないのです。言論や多数決は1848年および1849年の欠陥でありました。()と血によってこそ問題は解決されるのであります。...

問1 下線部(a)について、13植民地の独立宣言は、何という会議で採択されたのか、答えよ。

問2 史料Aの起草者の一人を答えよ。

問3 下線部(a)について、この議会が成立する直接のきっかけとなった事件を次の中から一つ選び番号で答えよ。

バスティーユ牢獄の襲撃 テニスコート(球戯場)の誓い ヴェルサイユ行進 蔵相ネッケルの罷免

問4 下線部(c)について、『社会契約論』の中でこの言葉を用いた、啓蒙思想の代表的な人物を答えよ。

問5 史料Cは、1833年にイギリスで公布された法律である。この史料の名称を答えよ。

問6 史料Cに関して正しいものを次の中から一つ選び番号で答えよ。

産業革命の進展により、イギリスの農村では多くの小作人たちが農業と家内工業を兼ねるようになった。

多くの労働者を必要としたイギリスの資本家たちは、アメリカやアフリカから奴隷を導入し、酷使した。

多くの児童や女性が工場で長時間の労働に従事させられ、社会問題となった。

この法律は、スコットランドのニューラナークで工場を経営したサン＝シモンらの努力によって成立した。

問7 下線部(d)について、直接の原因となった事件を次の中から一つ選び番号で答えよ。

ルイ＝ナポレオンの大統領就任 ルイ＝ブランら社会主義者の政府参加

パリの国立作業場の閉鎖 共和政の宣言

問8 下線部(e)について、この革命の影響について正しいものを次の中から一つ選び番号で答えよ。

ベルギーでは、民族的にも宗教的にも異なるオランダからの独立運動が起こり、二月革命の影響で達成した。

イギリスでは、カトリック教徒解放法が成立し、宗教的差別が撤廃された。

ドイツでは、ドイツ関税同盟が発足し、自由主義的改革を求める労働運動が盛んになった。

イタリアでは、マツィーニ率いる「青年イタリア」が、イタリアの統一をめざしてローマ共和国を建国した。

問9 史料Eの()にあてはまる語句を答えよ。

問10 史料Eは、1862年にプロイセンの宰相がドイツ統一をめざして行った演説である。この宰相の名を答えよ。

[5] 1 ~ 4 は古代インド史・5 はイラン文明・6 ~ 10は中国の唐時代までの事項を列挙したものである。1 ~ 10にある (a) ~ (d) の文は、一つが正しくて三つが誤っているか、一つが誤りで三つが正しいかの、どちらかである。(a) ~ (d) の各文の正誤を判断して、 の場合は正しい文の番号および 印を答え、 の場合は誤りのある文の番号および x 印を答えよ。

- 1 (a) インダス川下流のハラッパーや、パンジャーブ地方にあるハッタプリトラは、インダス文明の重要な遺跡である。
(b) インダス文明は前3千年紀中頃から栄えた青銅器文明で、公共浴場や整然とした街路などを持つ都市文明であった。
(c) 前1500年頃、インド=ヨーロッパ語族のアリヤ人が西北インドに侵入し、前1000年頃からはガンジス川にも進出した。
(d) 初期アリヤ社会の様子は、「リグ=ヴェーダ」を最古とするバラモン教の聖典「ヴェーダ」によって知られる。
- 2 (a) バラモン教を批判し、アフラ=マズダとアリマンとの対立を説くウパニシャッド哲学が生まれた。
(b) ジャイナ教は、ヴァルナ(カースト)制度を認め、苦行と神へのいけにえをすすめて、シュードラに支持された。
(c) ガウタマ=シッダールタは、人生の苦から解脱する道を求め、八正道の実践によってそれが得られると説いた。
(d) マウリヤ朝は、アケメネス朝ペルシアによる東方遠征後の混乱期に、チャンドラグプタが建国した王朝である。
- 3 (a) マウリヤ朝第3代のアショーカ王は仏教を国家の基本精神とし、仏典結集を行い、セイロン島などに布教した。
(b) カニシカ王の時全盛期を迎えたクシャーナ朝は東西交易で栄えたが、後3世紀にパルティアに滅ぼされた。
(c) クシャーナ朝の時代、菩薩信仰を中心に衆生救済を説く大乘仏教が発展し、従来の仏教を小乗仏教と呼んで区別した。
(d) ガンダーラ地方ではヘレニズム文化の影響で仏像が製作されたが、この美術は中国・朝鮮から日本にも伝わった。
- 4 (a) アジャンターの石窟寺院には、純インド的なグプタ様式の仏像がみられる。
(b) ナランダー僧院はグプタ朝時代に創建され、ヴァルダナ朝の時代には唐僧玄奘が訪れた。
(c) グプタ朝はプルシャプラを都とし、またこの王朝の第3代チャンドラグプタ2世の時に全盛期をむかえた。
(d) サータヴァーハナ(アーンドラ)朝は、ローマ帝国や東南アジアとの海上貿易で栄えた。
- 5 (a) 前3世紀中ごろセレウコス朝から、ギリシア人のパルティアとイラン系遊牧民のバクトリアが独立した。
(b) パルティア王国はローマと対立抗争し、またマニ教を国教とした。
(c) ササン朝は6世紀のホスロー1世の時全盛期を迎え、彼はローマ軍を破って皇帝ヴァレリアヌスを捕虜にした。
(d) ササン朝はゾロアスター教を国教として教典『アヴェスター』を編纂した。
- 6 (a) 黄河文明の前期は、彩文土器を特色としていたので彩陶文化と呼ばれ、また遺跡の名をとって仰韶文化とも呼ばれる。
(b) 黄河文明の時代、長江流域でも新石器文化が存在し、仰韶文化と同時期の河姆渡遺跡では水稲耕作が行われていた。
(c) 殷代に中国は鉄器時代にはいったが、殷王の支配はすべてを神意を占っておこなう神権政治であったことがわかる。
(d) 鎬京を都に建国された周の封建制度は、西ヨーロッパのそれとは異なり、同族集団としての宗族を基盤としていた。
- 7 (a) 秦は中央集権を実現するため郡県制をしき、貨幣を半両銭に統一すると共に、焚書などの思想統制も行った。
(b) 前漢を建てた高祖が秦にならって郡県制を全国にしいたため、のちに呉楚七国の乱がおこった。
(c) 前漢の武帝の時代は財政が豊かであったので、塩・鉄・酒の専売を廃止し、かわって均輸・平準法を実施した。
(d) 前漢の宦官王 が建てた新は、黄巾の乱などの混乱のうちに滅び、25年には洛陽を都として劉秀が後漢を建国した。
- 8 (a) 後漢の実権を握っていた曹操は、220年に帝位について魏を建て、これと劉備の呉・孫権の蜀との分立時代となった。
(b) 三国の一つ魏は、漢代の郷挙里選にかわって九品中正を採用したが、この制度は、豪族の中央進出の手段となった。
(c) 東晋の僧法顕は、海路インドにおもむき、その旅行記として『南海寄帰内法伝』を著した。
(d) 右の図は、東晋の画家王羲之が描いたと伝えられる「女史箴図」で、女官へのいましめがテーマとなっている。
- 9 (a) 隋は、第2代煬帝による高句麗遠征が失敗し、急激な改革によって各地に反乱が発生したため、618年に滅びた。
(b) 唐の第2代太宗は、三省六部を中心とする官制を整え、「貞観の治」と呼ばれる繁栄期を築いた。
(c) 玄宗の時代に安史の乱が発生し、それ以後唐王朝は衰勢に向かい、各地では節度使が自立化を強めていった。
(d) 両税法は、大土地所有を抑えて均田農民を確保しようとするものであったが、失敗に終わって唐末に廃止された。
- 10 (a) 儒学は秦代に迫害されたが、漢代に董仲舒の献策によって官学となり、以後訓詁学が盛んとなった。
(b) 後漢末の太平道・五斗米道を起源とする道教は、のちに寇謙之によってその教団組織が確立された。
(c) 紀元前後に中国に伝わった仏教は、魏晋南北朝時代に、仏図澄や鳩摩羅什らの布教によって本格的に中国に広まった。
(d) 唐代の韓愈や柳宗元は、漢代以前の古文を排し、六朝以来の四六駢儷体の美文を尊んだ文章家であった。

[6]10～14世紀の東アジアに関する次の 、 を読み、設問に答えよ。

唐末から(a)五代にかけて中国では門閥貴族が没落し、つづく宋の時代には(b)新興地主層が支配階層を占めるようになった。宋は[A]を弱体化して文治主義・中央集権体制を確立したが、このため北方民族に対して守勢に立ち、その侵入に悩んだ。(c)富国強兵もはかられたが、結局1126年、女真族に(d)首都を攻めおとされ、(e)中国の南半分のみを領有するようになった。ただ、宋代を通じて(f)経済や文化が発達し、繁栄を見た。

13世紀に成立したモンゴル帝国は(g)さかんに遠征を行って、短期間で中国からヨーロッパにまたがる大領土を築き、東西交通路も整備したので(h)西方との文化交流が盛んとなった。フビライ=ハンの時には国号を元と定め、南宋を滅ぼし、(i)中国全土の支配にも乗りだした。しかし元は中国社会に根を下ろすことができず、(j)衰退するのも早かった。

問1 下線部(a)について、五代の後晋が建国時に援助を受けた代償として、契丹族に割譲した地域を何というか答えよ。

問2 下線部(b)の階層の経済的基盤である大土地所有を支えた小作人のことを何というか答えよ。

問3 空欄[A]は唐代以来の軍職で、当時は地方で軍事・行政・財政の権限を握っていた。何という役職か答えよ。

問4 下線部(c)について、11世紀後半に宰相となり、新法を実施して富国強兵をはかった人物は誰か答えよ。

問5 下線部(d)について、北宋の首都である開封について正しく説明している文を次の中から一つ選び番号で答えよ。

秦・漢以来の古都で、周りを山に囲まれた要害の地であった。

大運河と黄河の交差点で、物資集散の中心地であった。

すぐ北を流れる長江が自然の要害となっており、背後には穀倉地帯をひかえていた。

北の郊外を長城がはしり、北方民族ににらみをきかせるのに絶好の位置にあった。

問6 下線部(e)について、女真族が樹立した国家との国境をなす川は何か答えよ。

問7 下線部(f)について、

ア．さかんであった海上貿易の事務をつかさどるため、広州や泉州などの港市に置かれた官庁は何か答えよ。

イ．宋代に関する次の文のうち、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

司馬光は、紀伝体の歴史書『資治通鑑』を著した。 朱熹は、陸九淵の説を受けて宋学を大成した。

宋代には貨幣経済が発展し、交子が発行された。 宋代の米作の中心は長江中流域に移った。

問8 下線部(g)について、モンゴル族の遠征を説明した次の文のうち、誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。

チンギス=ハンは西方遠征を行い、トルキスタンのホラズム朝を滅ぼしてインドへも侵入した。

オゴタイ=ハンはヨーロッパ方面へ遠征し、ドイツ・フランス軍をワールシュタットの戦いで破った。

フビライは雲南、チベットに遠征し、大理、吐蕃を征服した。

フラグは西アジア方面へ遠征し、バグダードを攻略してアッパース朝を滅ぼした。

問9 下線部(h)について、

ア．イスラム暦をもとにして、元代に郭守敬が作った暦は何か答えよ。

イ．モンゴル帝国または元を訪れたヨーロッパ人として誤っている人物を次の中から一人選び番号で答えよ。

プラノ=カルピニ モンテ=コルヴィノ マテオ=リッチ ルブルック

問10 下線部(i)について、元の中国支配に関して述べた次の文のうち、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

モンゴル語を公用語とし、漢字を公用文字とした。

被支配者の土地はすべて取り上げられ、モンゴル人貴族に分配された。

モンゴル人や色目人が支配階級を形成した。

儒学者や文化人を優遇したが、モンゴル人や元朝をそしるような思想・言論は徹底的に弾圧した。

問11 下線部(j)について、元の衰退要因として適切でないものを次の中から一つ選び番号で答えよ。

交鈔の乱発 チベット仏教保護のための財政支出 帝位をめぐる争い ハイドゥの乱

[7]イスラム世界に関する次のA・Bの文章を読み、下の問に答えよ。

A . (a) イスラム教はアラブ人のムハンマドによって7世紀に創始された。ムハンマドの死後、4代の(b) カリフがアラブ人を結集して大規模な征服にのりだし、アラブ人は征服者として各地を支配することになった。7世紀中ごろ、ムアーウィヤがカリフにつき(c) ウマイヤ朝をひらいた。ウマイヤ朝は約90年存続したが、8世紀中ごろ、ウマイヤ朝の支配に不満をもつイラン人の支持のもとに、アッバース家がウマイヤ朝を倒して、(d)アッバース朝をひらいた。アッバース朝の時代、(e) イスラム商人はインド・東南アジア・中国、あるいはアフリカ東岸や西アフリカまでを往来し活動した。また、この時代にはイスラム教とアラビア語を核として各地の文化を融合、発展させた(f) イスラム文化が開花した。アッバース朝は13世紀まで存続したが、9世紀以降(g) 各地の勢力が自立していき、イスラム世界は分裂していった。

問1 下線部(a)に関する次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

イスラム教はヒンドゥー教の影響を受けて成立したため、イスラム教ではヒンドゥー教徒を「啓典の民」と呼んだ。
ムハンマドはもとは遊牧民であったため、イスラム教はまず遊牧民の間に浸透していった。
イスラム教の聖典である「コーラン」は神の啓示の記録であり、アラビア語で書かれた。
イスラム教徒の教団国家が最初に建設されたのはメッカにおいてであった。

問2 下線部(b)に関する次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

カリフとは「預言者の後継者」という意味の言葉で、アッバース朝が成立するまではカリフは選挙で選出された。
ファティマ朝はアッバース朝のカリフの権威を否定し、その君主はみずからカリフと称した。
アイユーブ朝の君主がアッバース朝からスルタンの称号を認められて以後、カリフは名目的な存在になった。
セルジューク朝はマムルーク朝を倒してスンナ派イスラム教の宗主権を握り、スルタン=カリフ制を成立させた。

問3 下線部(c)に関する次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

この時代にイスラム教はサハラ砂漠以南にも広がった。
この時代にイスラム教徒はササン朝ペルシアを滅ぼした。
この時代、都はシリア地方のダマスカスにおかれた。
この時代に非アラブ人のイスラム教徒に対する差別が撤廃された。

問4 下線部(d)に関する次の文の中から、誤っているものを一つ選び番号で答えよ。

この時代、シーア派にもスンナ派と同等の権利が認められた。
この王朝はハールーン=アッラシードの時代に全盛期をむかえた。
この時代、カリフの権威を高めてイスラム教徒を統率する必要から、カリフの神格化が進められた。
この王朝はマムルークと呼ばれるトルコ人奴隷兵を導入した。

問5 下線部(e)について、イスラム世界の拡大に関する次の文の中から、誤っているものを一つ選び番号で答えよ。

ガズナ朝はアフガニスタンのイスラム王朝で、北インドに侵入した。
奴隷王朝は北インドのイスラム王朝で、アイバクによって創始された。
マラッカ王国はマライ半島南部のイスラム国家で、海上貿易で栄えた。
ソンガイ王国はアフリカ西部で最初に生まれたイスラム国家で、ガーナ王国から自立し、発展した。

問6 下線部(f)に関する次の文の中から、誤っているものを一つ選び番号で答えよ。

イブン=シーナーはアリストテレス哲学を研究するとともに、医学者としても後世に大きな影響を与えた。
イブン=ハルドゥーンは『歴史序説』を著して、定着民と遊牧民の関係を中心に歴史発展の法則を論じた。
イブン=バットゥータは世界各地を旅行し、『三大陸周遊記』を著した。
イブン=ルシュドはイラン系の地理学者で、彼の著書には中国のことも記されている。

問7 下線部(g)に関して、9世紀後半にイラン北東部でイラン人が自立して建国したイスラム王朝を次の中から一つ選び番号で答えよ。

サーマーン朝 後ウマイヤ朝 ゴール朝 ムラービト朝

B . 16世紀頃のイスラム世界を概観すると、西アジアから北アフリカにかけての地域およびバルカン半島を支配していたのが(h) オスマン帝国である。また、16世紀初めに(i) サファヴィー朝がイランに誕生し、強勢を誇った。一方、インドでは16世紀前半に(j) ムガル帝国が建国され、16世紀末にはその勢力は北インドからアフガニスタンにおよんだ。

問8 下線部(h)に関する次の文の中から、誤っているものを一つ選び番号で答えよ。

15世紀にビザンツ帝国を滅ぼし、コンスタンティノーブル(現イスタンブル)に都を移した。
帝国内のキリスト教徒やユダヤ教徒には自治が認められ、彼らとイスラム教徒との関係は比較的平和であった。
スレイマン1世はスペインのカルロス1世と結んで、神聖ローマ帝国に対抗した。
オスマン帝国ではトルコ=イスラム文化が成熟し、壮大なモスクが建てられ、華麗な美術工芸も生まれた。

問9 下線部(i)に関する次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

サファヴィー朝はスンナ派イスラム教を国教とし、シーア派を抑圧した。
アッバース1世はオスマン帝国にうばわれた領土を回復し、西ヨーロッパ諸国との外交・通商関係をひらいた。
アッバース1世はテヘランに都を定めた。この都市には壮麗なモスクが数多く建てられた。
19世紀になると、イギリス・ロシアの進出により、サファヴィー朝は衰退した。

問10 下線部(j)に関する次の文の中から、誤っているものを一つ選び番号で答えよ。

ティムールの子孫と称するバーブルはデリーのロディー朝を倒してムガル帝国をおこした。
アクバル帝は非イスラム教徒に課すジズヤを廃止してヒンドゥー教徒とイスラム教徒との融和をはかった。
アウラングゼーブ帝はジズヤを復活し、非イスラム教徒に対して厳格な政策をとったので、彼らの反発をまねいた。
ムガル帝国の時代、ナーナクが仏教とイスラム教を融合させてシク教をつくった。

[8]下の年表は19世紀中頃～20世紀初めにかけてのものである。年表を見て設問に答えよ。

トルコ・エジプト		インド		中国	
39	第二次エジプト＝トルコ戦争 (～40)	34	東インド会社の商業活動停止	40	アヘン戦争(～42)
39	タンジマート(～76)			42	(c)南京条約
				51	太平天国の運動(～64)
69	(あ)の開通	57	1857年の反乱	56	(う)戦争(～60)
				60	北京条約
76	ミドハト憲法発布				
77	(a)ロシア＝トルコ戦争(～78)	77	(b)インド帝国の成立	84	清仏戦争(～85)
78	ベルリン条約	85	第1回(い)開催	94	(d)日清戦争(～95)
		05	ベンガル分割令		

問1 年表中の(あ)～(う)にあてはまる語句を答えよ。

問2 下線部(a)の戦争について述べた次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

エジプト太守ムハンマド＝アリーがシリアを要求したことが直接の原因である。

ロシアはこの戦争を契機に国内の近代化をすすめ、農奴解放をおこなった。

この戦争に勝利したロシアはサン＝ステファノ条約により、バルカン半島進出にいったんは成功した。

この戦争の結果、ブルガリアのみが独立を承認された。

問3 下線部(b)の帝国について述べた次の文の中から、誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。

イギリスのヴィクトリア女王がインド帝国の皇帝を兼ねた。

南インドのマイソール王国は帝国の領域に含まれなかった。

帝国は直轄領と多くの藩王国から構成されていた。

1880年代にはビルマ(ミャンマー)を併合した。

問4 下線部(c)の条約について述べた次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

香港の割譲、公行の解散が定められたが、賠償金は支払われなかった。

華北の天津や長江中流域の漢口など11港が開港された。

アヘン貿易についてはふれられなかった。

外国公使の北京駐在、キリスト教布教の自由が認められた。

問5 下線部(d)の戦争について述べた次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

朝鮮半島での甲午農民戦争が直接の原因となった。

この戦争をきっかけとして、清では変法自強運動が衰え、革命運動が盛んになった。

この戦争をきっかけとして、朝鮮での義兵運動は急速に衰退していった。

戦後、満州の權益をめぐって日本とアメリカの対立が深刻になった。

問6 次のえ～かの各事項は年表のA～Iのどの時期に当てはまるか。記号で答えよ。

え．アラブ＝パシャの反乱 (トルコ・エジプト)

お．東インド会社の解散 (インド)

か．洋務運動 (中国)

[9]次の文章を読み、下線部に関する設問に答えよ。

20世紀初め、植民地獲得をめぐる帝国主義諸国の対立がますます激しくなるなかで、(a)「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれたバルカン半島で起きた暗殺事件から第一次世界大戦が勃発した。日本やトルコの参戦により(b)「アジアにも戦線が広がり文字通りの世界戦争となった大戦」は、開戦国の予想に反して長期化し総力戦となった。(c)「政治・経済体制の遅れから総力戦にたえられなかったロシアで1917年に革命が起こり、ドイツでも降伏と前後して革命が起きた」。5年におよぶ世界戦争は二つの革命がおこる契機となり、同盟国側の敗北で終わった。

第一次世界大戦はかつてない被害を人類に与えたため、(d)「パリ講和会議ではアメリカのウィルソン大統領が提唱した十四カ条の平和原則が理念とされ、史上初の国際平和機構として国際連盟が誕生した」。(e)「大戦の惨禍が消えない1920年代には国際会議がしばしば開かれるなど国際協調の気運が強かったけれども、(f)世界恐慌が起きると、ドイツや日本では全体主義的な政治体制が成立し、いち早くファシスタ党の独裁政権が誕生していた(g)イタリアとともに、(h)ヴェルサイユ体制に挑戦していったため、国際緊張は高まり、さらに大規模な世界戦争が始まることになった」。

問1 下線部(a)について述べた次の文の中から、誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。

ロシアはパン＝スラヴ主義を唱えて、バルカン半島への勢力拡大をはかっていた。

青年トルコ革命によってオスマン朝は倒れて、トルコはアジア最初の共和国となった。

青年トルコ革命を機に、オーストリアはスラブ人の住むボスニアとヘルツェゴヴィナの2州を併合した。

セルビアなどバルカン諸国は、トルコに戦争をしかけ、さらにトルコから得た領土の配分をめぐる戦争をした。

問2 下線部(b)に関する説明として、誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。

イギリス・フランス・ロシアの3国は、トルコを分割する秘密協定を結んだ。

イギリスはアラブ人の協力を得るため、トルコからの戦後の独立を約束した。

インドでは、ガンディー指導下に大戦への協力を拒否する非暴力・不服従の反英運動が高揚した。

日英同盟を口実に参戦した日本は、中国の袁世凱政権に二十一カ条要求をおしつけて利権の拡大をはかった。

問3 下線部(c)について述べた次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

首都モスクワで起きた「血の日曜日事件」をきっかけにロシア革命が勃発し、ロマノフ王朝は滅亡した。

三月革命で有産階級を基盤とする臨時政府と労働者や兵士が結成したソヴィエトが並立する二重権力状態が出現した。

ケレンスキーが率いるメンシェヴィキは、即時停戦を唱え、十一月革命でソヴィエト政権を樹立した。

ソヴィエト政権がドイツと単独講和を結ぶと連合国は対ソ干渉戦争を起こしたが、日本やアメリカは参戦しなかった。

問4 下線部(d)について述べた次の文の中から、正しいものを一つ選び番号で答えよ。

パリ講和会議には、敗戦国は参加できず、ロシアのソヴィエト政権も招かれなかった。

ドイツは全海外領土を奪われたものの、ヨーロッパにおいて領土を失うことはなかった。

ドイツやトルコなど敗戦国の支配下にあった諸民族は、民族自決の原則に従って、それぞれ独立を承認された。

国際連盟の常任理事国となったアメリカは、戦後の国際政治で主導的な役割を担うことになった。

問5 パリ講和会議で東欧に多くの国が独立したが、次の中で大戦前にすでに独立していた国を一つ選び番号で答えよ。

チェコスロバキア フィンランド ルーマニア リトアニア

問6 下線部(e)に関して、軍備制限と中国や太平洋地域の問題を討議するために会議が開かれた都市を一つ選び番号で答えよ。

ジュネーヴ ロカルノ ロンドン ワシントン

問7 下線部(f)の世界恐慌について述べた次の文の中から、誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。

世界恐慌はニューヨーク株式市場で株価が大暴落したことから始まった。

イギリスは金本位制を停止して、排他的なブロック経済政策をとった。

恐慌でアメリカ資本が引き上げられたため、ドイツは深刻な経済混乱に見舞われた。

ソ連でも工業生産が急激に低下したため、スターリンは独裁体制を強化して国内の動揺を押さえた。

問8 下線(g)のイタリアが1930年代に侵略した国はどこか。次の中から一つ選び番号で答えよ。

エチオピア スーダン リビア モロッコ

問9 下線部(h)の国際緊張が高まるなかで、フランスでは反ファシズム勢力を結集した人民戦線内閣が成立した。この内閣の首相を選び番号で答えよ。

クレマンソー ド＝ゴール ブリアン ブルム

問10 下線部(h)に関して、第二次世界大戦を阻止できなかった要因に宥和政策がある。ミュンヘン会談でイギリスとフランスが容認したナチス・ドイツの行動は何か。次の中から一つ選び番号で答えよ。

ラインラントへのドイツ軍進駐

オーストリアとドイツの合併

ズデーデン地方の併合

ポーランド回廊の併合

[10]近代以前の東アジア世界を概観した次の文を読み、設問に答えよ。

東アジア世界の中心として中国は大きな影響力を持ってきた。現在知られている中国最古の王朝である殷の実体は [A] の解読などによって次第に明らかになった。つづく周の時代に王朝の支配領域はさらに拡大したが、やがてその勢力が衰え、(a)分裂時代にはいった。その時代には(b)多様な学派が生まれ中国思想の源となった。前221年に中国を統一した(c)秦は短期間で滅んだが、あとを継いだ(d)漢王朝は、初期においては北方民族の侵入に苦しみ、また一時中断したものの400年間続き、中国の統一が確立した。

漢が滅んだ後、中国は(e)分裂時代を迎えるがそれを再び統一したのは(f)隋である。まもなく隋にかわった(g)唐では官僚機構や法制が整備され、後代の王朝に受け継がれただけでなく周辺諸国に大きな影響を与えた。唐滅亡後の混乱を平定した宋は文治政治を貫いたが、そのため軍事的には弱く、(h)周辺諸国に圧迫された。13世紀にはいるとモンゴル族が力を強め、(i)第5代ハンのフビライは国号を元と称し、南宋を滅ぼして全中国を支配下に入れた。元を北方に追いやり、(j)漢民族の王朝を復活させた明では、永楽帝の時代に最盛期を迎えたが、次第に(k)異民族の侵入や海賊に苦しむようになり、1644年に滅んだ。明滅亡の少し前に女真人は国号を清と定め、明の滅亡を機に中国に侵入し中国を支配した。

問1 [A] にあてはまる文字は何か答えよ。

問2 下線部(a)について、前8世紀から、前3世紀までの分裂時代を何というか答えよ。

問3 下線部(b)について、この時代に思想家たちを総称して何というか。漢字四字で答えよ。

問4 下線部(c)について、秦は王をこえる天下唯一の統治者としての称号を定め、これが以後歴代の王朝に使われた。この称号を何というか答えよ。

問5 下線部(d)について、この北方民族の名を答えよ。

問6 下線部(e)について、この時代の様子について正しい文章を一つ選び番号で答えよ。

中国の華北を統一した北魏は、漢民族の文化を圧迫した。

日本の邪馬台国が三国の一つであった魏に朝貢した。

朝鮮半島は、百済と新羅の二強時代であった。

中国の江南地方は、戦乱のため、あまり発展しなかった。

問7 下線部(f)について、この王朝が採用し、清の末期まで続いた官吏登用制度を何というか答えよ。

問8 下線部(g)について、刑法一般のことを何というか。次の中から一つ選び番号で答えよ。

律 令 格 式

問9 下線部(h)について、この周辺諸国に含まれないものを次の中から一つ選び番号で答えよ。

渤海 遼 金 西夏

問10 下線部(i)について、この時代の様子について誤った文章を次の中から一つ選び番号で答えよ。

日本へ二度にわたる遠征軍を送ったが、失敗した。

朝鮮半島の王朝、高麗を服属させることはできなかった。

ヴェネツィアの商人マルコ=ポーロが大都に来てフビライに仕えた。

このころからモンゴル帝国は、事実上、元と4つのハン国に分裂した。

問11 下線部(j)について、明の成立とほぼ同時期に朝鮮半島で李氏朝鮮が成立したが、この王朝で作られた音標文字を何というか答えよ。

問12 下線部(k)について、明を苦しめたこれらを総称して何というか。漢字四字で答えよ。

[11] 8世紀と16世紀の世界について、地図を参照しながら、次の設問に答えよ。

地図Aを参照しながら、8世紀の世界に関する、次の設問に番号で答えよ。

問1 イベリア半島では、8世紀中頃から11世紀にかけて「あ」が存続した。

(1) イベリア半島で、イスラム勢力の進出によって8世紀前半に滅亡したゲルマン人の国を、次の中から1つ選べ。

ヴァンダル 西ゴート プルゲント ロンバルド

(2) (a)は「あ」の都である。ヨーロッパへのイスラム文化流入の拠点ともなったこの都市名を、次の中から1つ選べ。

コルドバ マドリード リスボン ダマスカス

問2 8世紀に「う」で、イスラム勢力の進出を防ぎ、偶像(聖像)崇拜禁止令をだした皇帝はだれか。次の中から1つ選べ。

ユスティニアヌス レオン3世 カール=マルテル ディオクレティアヌス

問3 西アジアでは、8世紀中頃から13世紀中頃にかけて「え」が存続した。

(1) 「え」が関係した「戦争とその相手国」の正しい組み合わせを次より番号で選べ。

二ハーヴァンドの戦い - ササン朝ペルシア トゥール・ボワティエ間の戦い - フランク王国

タラス河畔の戦い - 唐

ワールシュタット(リーグニッツ)の戦い - モンゴル帝国

(2) 「え」の都バグダードの位置を、図中の記号(b)~(e)から選べ。

問4 東アジアでは、7世紀前半から10世紀初期にかけて「お」が存続した。

(1) 「お」の時代に、西域から伝わり流行した外来宗教の一つである景教とは次のどれか。次の中から1つ選べ。

ネストリウス派キリスト教 アリウス派キリスト教 ゾロアスター教 マニ教

(2) 「お」が、安史の乱を鎮圧するさいに援助を求めたウイグルの当時の勢力範囲を「か」~「け」より番号で選べ。

問5 8~9世紀に「こ」で作られたボロブドゥールの石造建築は、どの宗教の遺跡か。次の中から1つ選べ。

ヒンドゥー教 イスラム教 道教 仏教

地図Bを参照しながら、16世紀の世界に関する、次の各文の(1)~(6)に入る語句を下の語群より番号で選べ。また下線(a)・(b)・(c)の位置をそれぞれ図中の番号ア~エ、オ~ク、ケ~シより選べ。

(1) コロンブス以後、スペインは黄金や香辛料を求めて「新大陸」の探検・征服に力をそそいだ。1519~21年にコルテスがアステカ帝国を略奪・破壊し、1533年には(1)がインカ帝国を征服した。この後、(a)ポトシ銀山やプランテーションで先住民の「インディオ」は酷使された。

(2) スペインの(2)は、1571年の(b)レパントの海戦でオスマン帝国より勝利をおさめた。だが一方で、(2)がカトリック政策を強化したことから、支配下の(3)で独立運動がおこった。

(3) カトリックの海外布教につとめたイエズス会の、アジアでの布教の拠点は(c)ゴアであった。そして、フランシスコ=シャヴィエルの死後、中国への本格的な布教を行なったのが(4)である。なおこの人物は中国最初の世界地図「坤輿万国全図」の作成にもかかわっている。

(4) 15世紀後半にモンゴルの支配から自立したモスクワ大公国では、16世紀中頃、雷帝とよばれた(5)が、正式にツァーリの称号を採用した。またこの人物の時代には、シベリアの語源となるシビル=ハン国をドン=カザーク(コサック)の長である(6)が征服した。

< 語群 >

ネーデルラント スイス フェリペ2世 イェルマーク プガチョフ イヴァン4世 ピョートル1世
ラス=カサス ピサロ マテオ=リッチ

[12]キリスト教の歴史に関して、次の ~ の著名な宗教会議についての設問に答えよ。

・ [A] 公会議 (325年)

この会議は、ミラノ勅令でキリスト教を公認したローマ皇帝 [B] が召集した。会議の結果、 [C] の主張する三位一体説が正統教義とされ、アリウスの説は異端とされた。

問1 文中の [A] ~ [C] にあてはまる語句を答えよ。

問2 この会議以後のキリスト教世界に関する説明として、誤りを含むものを次の中から一つ選び番号で答えよ。

皇帝テオドシウスによってキリスト教は国教化された。

教父アウグスティヌスが「神の国」を著した。

エフェソス公会議でネストリウスの説が異端とされた。

イタリアのモンテ = カシノにクリュニー修道院が建てられた。

・ [D] 公会議 (1095年)

この会議は、セルジューク = トルコの攻勢を受けたビザンツ帝国からの援助要請に応える形で、時のローマ教皇 [E] が召集した。聖地回復の訴えに人々は熱狂し、(a) 十字軍遠征 がおこなわれることになった。

問3 文中の [D] ・ [E] にあてはまる語句を答えよ。

問4 下線部 (a) について述べた次の文の中から誤りを含むものを一つ選び番号で答えよ。

第1回十字軍は聖地を回復し、イェルサレム王国を建てた。

第3回十字軍はエジプトを支配するファーティマ朝のサラディンと激突した。

第4回十字軍はコンスタンティノーブルを攻略し、ラテン帝国を建てた。

200年にわたる十字軍遠征は結局失敗に終わった。

・ コンスタンツ公会議 (1414年 ~ 18年)

この会議は、(b) 14世紀から続いていた教会大分裂 (シスマ) を解消するために開催され、(c) ウィクリフ の説を異端とし、ベーメン (ボヘミア) の [F] を火刑に処した。

問5 文中の [F] にあてはまる語句を答えよ。

問6 下線部 (b) について、南フランスで教皇庁のおかれた都市名を答えよ。

問7 下線部 (c) の人物は神学で有名なある大学の教授であった。その大学を次の中から選び番号で答えよ。

サレルノ大学 パリ大学 オックスフォード大学 ボローニア大学